

7/14（土）三学部横断型ゼミナール・プロジェクト 2018 最終報告会 —企業の CSR 報告書を作成し、発表—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、経済学部・人文学部・社会学部の3学部が協働で企業からの課題に取り組む「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」（2018年度前期）の最終報告会を7月14日（土）に開催いたします。

三学部横断型ゼミナール・プロジェクト最終報告会の概要

本学の特長である「ゼミ」をさらに発展させ、3つの学部の学生が一つのチーム（各学部より5名参加し、1チームは15名程度）を作り、学部の専門性を生かしながら調査・分析し、企業からの課題解決に取り組みます。このゼミの課題は、《担当企業の CSR 報告書の作成》と《今後の CSR 活動と CSV 活動についての提案》です。2018年度は1セメスター1クラスを開講しており、前期は2・3年次生29名が履修しています。学生はチームごとに、担当する企業を3カ月間かけて調査・分析し、その結果を最終報告会にて発表。また、学生が制作した担当企業の『CSR 報告書』は会場にて参加者へ配付。報告会は高校生や一般の方へも開放し、学生たちの発表が聴講可能となっています。

日程 ※事前予約不要・途中入場可

日時：2018年7月14日（土） 11：00～13：15

会場：武蔵大学 江古田キャンパス 8号館 8503教室

発表者：武蔵大学 三学部横断型ゼミナール・プロジェクト 履修生

内容

11：00～11：20 プロジェクトの概要説明

11：25～12：10 株式会社丸高工業担当チーム発表

12：20～13：05 協栄産業株式会社担当チーム発表

13：05～13：15 全体の講評



↑ 過去の最終報告会の様子

三学部横断型ゼミナール・プロジェクトの学習目的

社会人基礎力を育成する

異なる専門性・価値観をもつ複数の学部の学生同士がひとつの課題に向けて取り組むことで、同一学部内のゼミでは経験したことのない種類のチームワーク、リーダーシップ、自己管理能力を育成する。

正確な自己評価能力の育成を目指す

プロジェクト期間を通じて、各種評価ツールの活用、SNS（ブログ）への活動記録の記入、事前・中間・事後のキャリアコンサルティングを実施。単なる課題解決にとどまらず、生涯学習力につながってゆく「正確な自己評価」能力の育成を目指す。

CSR（社会的責任）を果たすことの意義と難しさを理解すること

課題＝「CSR 報告書の作成」を通して、学生みずからも一市民として、持続可能な社会を築くために果たすべき役割を意識させ、現代社会を生きる上で必要となる「多様な視点」を身につける。

■ 武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1